

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 23992
お名前	古屋 勝昭
性別	男
年齢	79歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

私は柔道の整骨院を開設し、45年を経ています。患者さんの中には、多種多様な相談、質問、会話があります。中でも多いのが、健康に関するものです。私の有する資格は、「柔道、整復師、はり、きゅう師、指圧、あんま師」です。これらの資格取得で学んだ医学(5年間)で対応できるものもありましたが、もう少し専門的な知識が欲しいと思っていたところへ、健康管理士一般指導員の資格取得講座のある事を新聞で知り、これだと考え受講しました。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

基礎医学を5年間学んだ私は、違和感なく学習(テキスト)に取り組みました。教材が手元にあるので、診療の休み時間、終了後、休診日などにすぐ学習ができて便利で学習も進みました。なにより「テキスト」がとても理解しやすく、私のような高齢者でも楽しく学びました。健康管理士一般指導員の資格取得後は、社会生活に大いなる自信が持てます。

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

私は地域では町内会長、業界(社団法人)の理事、各種数団体の会長等を歴任しております。行事の挨拶時、健康管理の話をしたり、また自ら「プログラム」に小講演を組み入れたりしています。平成20年9月9日には、横須賀市の保健所、所属団体から講演を依頼されて、45分位ですがお話しをしました。私は、社会通信教育協会から生涯学習一級インストラクターの認定を受け、「学びの達人、遊びの達人」の称号を受けています。そして、県の生涯学習情報センター教授と横須賀市の生涯学習館の講師に登録しております。講演する機会があります。

その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

「ほすぴ」は私達資格取得者にとっては、最も頼りになる情報源、教材とも言えます。「ほすぴ」は健康に関する教材が多角的に掲載されていて、私達の活動の参考書として大いに役立ち頼りにしています。そしてなにより、自己健康管理が一番大切であると心に置いて活動します。